

キャラクター名
御剣 兼久(ミツルギ かねひさ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	道場主
	オルクス					
オプション			年齢	98(見た目は50くらいです)	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	嫌悪	初期侵食率	36	%
出自	名家の生まれ	経験	古強者	邂逅	殺意	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	3	0	0			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鬼切りの古太刀	白兵	1r+1	3	10		対象のEロイスを1つ解除
封刃(縮地あり100↓1234)	白兵	4r+3		35		攻撃力+25、C値-2 (攻撃判定+2)
秘剣(縮地あり100↑12345) (勝利の女神)	白兵	4r+3		35		攻撃力+25、C値-3 (攻撃判定+2)
		0				対象の達成値+3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
遺産継承者: 鬼切りの古太刀	
ウェポンケース	
コネ: UGN幹部	
コネ: UGN諜報部	
エンチャント: コントロールソート	
ネームド: 「供養」	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者	P	N		
家系	P 連帯感	N 疎外感		
道場の中の"なにか"	P 親近感	N 脅威		
E.E. schEmE	P 好奇心	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: <シンドローム>判定のC値を-Lv個する								
縮地	5	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 戦闘移動、全力移動宣言時に使用。任意の場所に移動、離脱を行える。1シナリオにLv回使用可能。								
バックスタブ	5	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: 《縮地》を使用したメインプロセスの間、白兵攻撃力がLv×5される。侵食率でレベルアップしない。								
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	対決		
効果: <白兵>【精神】で判定可能になる								
勝利の女神	1	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 対象が判定を行った直後に使用可。達成値を+ [Lv×3] する。1ラウンド1回まで								
構造看破	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 機械や建造物の構造を見た瞬間に解析できる。								
不可視の領域	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: [Lv×1000]平方メートルの場所を隠蔽できる。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

御剣 兼久(みつるぎかねひさ)

優しいおじさん、に見えるがあまり隙がない。
支部のオフィス兼自宅からほとんど動く様子がなく、支部の構成員とお茶菓子を食べたり、将棋を打ったりと、目立って仕事をしてる様子もほとんどない。
が、気付くと外から帰ってきて仕事をした体でいたり、と思えば依然屋内にいたりする。
外で名前を呼ぶと気付いたら近くにいたりいなかったりもする。神出鬼没である。

戦闘では普段の日和見主義から一転、敵を容赦なく切り捨てる刀使いである。
戦法はオルクスによる特殊な歩法から死角を取り、急所を刺すシンプルなもの。
得物である刀自体が特殊な力を持っているため、自分自身にできることはそう多くないよ、とのこと。

人に仇なす人ならざるものを斬る一族の末裔であるため、現代でいうジャームを討伐対象として嫌悪している。
転じて、オーヴァードに対する感情は複雑。
UGNに所属して見識を深めた今、討伐対象ではなく被害者として同情しているが、近しい者がジャームと化した場合は斬り殺すことにしている。

自分がオーヴァードとなったのは20代の頃だが、50歳頃を境に歳を取らなくなってしまった。
死ぬに死ぬなまま、死に場所を求めるように己の勤めを果たさんとしている。